

物部川清流保全推進協議会部会「ゴミ対策を進めるWG」要旨(第5回)

日 時： 平成24年5月17日(木) 14:00~15:40

場 所： のいちふれあいセンター2階 第1・第2研修室

内 容：

1. 事務局より、前回(H24.1.19)の議事要旨の説明。

2. 報告事項

(1) 中・上流域での清掃実施場所について、香美市と事務局による検討状況を報告。中流域の本流はダム湖であるために水際まで近付ける場所はないこと、中流域の支流・上流域の本支流でも道路と川の高低差が大きいことに加え広い河原もないこと、また市民参加型で清掃する必要があるようなごみの散乱もないことから、適地が見つからないことを報告した。

(主な意見)

- ・人を集めて河川清掃をするには、広い河原がないと危ないのではないか。
- ・河川のごみ問題について、地域の想いはどの程度か。
- ・大柵のダム湖沿いの公園付近では、地区長さんが中心になって定期的に清掃活動をしていると思う。
- ・例えば岡ノ内よりもうひとつ上の道路に入っていくと、目につきにくいところにテレビや冷蔵庫がたくさん捨てられている。
- ・住民が目目の前のゴミを拾うという行動が、上流から河口までできるようになるといいと思う。そのためには集まる場所が多い方が、エリアは広がるのではないか。
- ・四万十川のようなやり方(一斉清掃の日を定め、流域市町村が足並みをそろえ、住民が一斉に清掃活動をする)は理想形と思うが、川の状況も異なり、同じようにはいかないこともあるだろう。
- ・川に人を集めてくるのは大変。参加を自主性にまかせていては難しいのではないか。組織票が大きいだろう。

↓

○平成24年度は下流域のみで、参加者の増を目標に取り組むこととする。

○来年度以降に向けて、特に中・上流域での地域の想いも確かめながら実施場所の適地を継続検討する。

(2) 平成24年度の国交省主催・河川愛護月間行事は、7月15日(日)7:00~物部川流域6会場で実施されることが報告された。

3. 協議事項

(1) 一斉清掃の参加者を増やすための取組みについて

(主な意見)

- ・県では今回の清掃活動について、流域の各種団体や県関係機関をまわって個別に参加依頼を行う予定である。
- ・流域3市より、例年の広報状況(チラシの配布状況を含む)を報告。いずれも建設関係課が所管しており今年度も例年どおりの広報を予定している。
- ・チラシを全戸配布するなら、香南市では新たに13000枚の準備が必要。
- ・例えば、日ごろ深淵で練習しているような地元のスポーツ少年団に声をかけるのはどうか。
- ・川への愛着がなければ積極的な参加は得にくいと思う。川への愛着がない層を呼び込むためには、よほど訴えるものがあるか、もしくは組織的に半強制ということになるのでは。
- ・南国市では、住民を巻き込む清掃活動の実施の際には、地元にいる環境美化清掃員へ説明に回っている。
- ・消防団などのネットワークへの呼びかけはどうか。
- ・流域にある清掃組合では、ごみの受け入れ量を落とすための取組みをしている。今回の河川清掃においても、木くずは収集しないなどの協力をしてほしい。

↓

○WG参加団体はそれぞれ、可能な方法・範囲で参加の呼びかけを行う。

○スポーツ少年団への呼びかけや人の集まる場所でのチラシ配布など、各市から直接動けそうなところについても、事務局と情報交換しながら検討する。

4. その他

(1) 24年度に流域で行われる清掃活動の実施予定について、情報共有を行った。

- ・(事務局)WGで共有した情報を、WGで連携する各団体が持ち帰って広報し、参加することで、清掃活動の参加者増につなげていきたい。詳細な日時等決定すれば随時事務局にも情報提供を願いたい。

(2) 県関連の補助事業、助成事業について、情報提供を行った。

まとめ

- ◆ 下流域では、一斉清掃の参加者を増やすための取り組みに重点をおき、WG参加団体はそれぞれ、可能な方法・範囲で参加の呼びかけを行う。
- ◆ 流域で行われている個別の清掃活動についても、他のWG参加団体への呼びかけなども含め、協議会としての情報共有と積極的な参加を促していくこととする。
- ◆ 来年度以降に向けては、特に中・上流域では地域の想いも確かめながら、一斉清掃の実施場所を継続検討する。

以上